

2018年（平成30年）

No.152

つくば市議会だより

＝ 主な内容 ＝

会派代表質問 P 2
一般質問 P 6
議案審議 P 9
議決結果一覧 P 10
常任委員会審査 P 12

〒305-8555
 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
 Tel 029-883-1111 (代) Fax 029-868-7635
<http://www.city.tsukuba.lg.jp/>

5月1日発行

発行：つくば市議会 編集：議会報編集委員会

思い出を胸に輝く未来へ！

秀峰筑波義務教育学校の開校に伴い、平成30年3月31日をもって筑波地区2中学校・7小学校が閉校になりました。統合される各学校の春の風景を掲載しました。



小田小学校



作岡小学校



北条小学校



筑波西中学校



田水山小学校



筑波東中学校



筑波小学校



菅間小学校



田井小学校

3月定例会ハイライト

- 会派代表質問** 6会派の代表者が施政方針をただす
- 一般質問** 14人の議員が白熱の議論を展開
- 議案審議** 平成30年度一般会計予算など72件の議案等を審議
- 決 議** イノシシによる被害対策をさらに推進することを求める決議ほか1件を可決

平成30年5月号から1日発行に変更になりました。今後は、8月・11月・1月・2月の1日発行となります。

会派代表質問

“施政方針をただす”

会派代表質問は、3月定例会で、会派の構成議員数が3人以上の会派から、会派を代表して1人が行います。6会派の代表者が、市長の「平成30年度市政運営の所信と主要施策」に対して、質問を行いました。なお、各会派の質問項目は左のとおりです。

質問項目

自民つくばクラブ

・新しい風

- ① まちづくりについて
- ② 福祉について
- ③ 教育について
- ④ 経済振興について
- ⑤ 科学技術について
- ⑥ 行政について
- ⑦ 「世界のあしたが見えるまち」について

統一会派 つくば 政清会・民進党の会

- ① まちづくりについて
- ② 福祉について
- ③ 教育について
- ④ 科学技術について
- ⑤ 徹底した行政改革「市民第一のつくば」について
- ⑥ 安心の子育て「こどもとママパパにやさしいつくば」について
- ⑦ 頼れる福祉「すべての人が自分らしく生きるつくば」について
- ⑧ 便利なインフラ「広いのに近いつくば」について
- ⑨ 活気ある地域「地元で頑張る人と会社が報われるつくば」について
- ⑩ 誇れるまち「一緒に住まない？」と誘いたくなるつくばについて

公明党

- ① SDGsの理念を反映したまちづくりについて
- ② つくば市の政治・行政の成熟度と平成30年度の位置づけについて
- ③ まちづくりの課題解決の方策について
- ④ つくば市の教育行政の方向性について
- ⑤ 新産業創出の道筋について
- ⑥ 予算案における優先順位と市長公約事業の推進、反映状況について
- ⑦ 徹底した行政改革 職員の人材育成、能力開発について
- ⑧ 安心の子育てについて
- ⑨ 頼れる福祉について
- ⑩ 便利なインフラについて
- ⑪ 活気ある地域について
- ⑫ 誇れるまちについて

つくば市民政策研究会

- ① まちづくりについて
- ② 福祉について
- ③ 教育について
- ④ 経済振興について
- ⑤ 徹底した行政改革「市民第一のつくば」について
- ⑥ 安心の子育て「こどもとママパパにやさしいつくば」について
- ⑦ 頼れる福祉「すべての人が自分らしく生きるつくば」について
- ⑧ 誇れるまち「一緒に住まない？」と誘いたくなるつくばについて

つくば

・市民ネットワーク

- ① まちづくりについて
- ② 福祉について
- ③ 教育について
- ④ 経済振興について
- ⑤ 科学技術について
- ⑥ 行政について
- ⑦ 平成30年度の主要施策について

日本共産党

- ① 自治体財政について
- ② 国民健康保険について
- ③ 介護保険への繰入れについて
- ④ マイナンバーについて
- ⑤ 農業について
- ⑥ 自然エネルギーについて
- ⑦ 地域おこし協力隊について
- ⑧ 非正規・最低賃金対策について
- ⑨ 地区相談センターについて
- ⑩ 沿線開発地区へのコミュニティ施設づくりについて
- ⑪ 中根・金田開発の緑住農街区について
- ⑫ 公共施設マネジメントについて
- ⑬ 財政調整基金の位置付けについて
- ⑭ 産婦人科施設整備について
- ⑮ 公共交通について
- ⑯ 保育園待機児童について
- ⑰ 子どもの貧困対策について
- ⑱ イノシシ対策について
- ⑲ 社会力を育てる教育について
- ⑳ 公立教員の働き方について

会派名簿

(平成30年2月21日)

自民つくばクラブ・新しい風

- 小久保 貴史
- 長塚 俊宏
- 黒田 健祐
- 神谷 大蔵
- 五頭 泰誠
- ヘイズジョン
- 久保谷 孝夫

統一会派 つくば政清会・民進党の会

- 塚本 洋二
- 木村 清隆
- 木村 修寿
- 大久保 勝弘

つくば・市民ネットワーク

- 宇野 信子
- 小森谷 佐弥香
- 皆川 幸枝
- 北口 ひとみ

日本共産党

- 滝口 隆一
- 山中 真弓
- 橋本 佳子

つくば市民政策研究会

- 須藤 光明
- 高野 進
- 柳沢 逸夫

公明党

- 小野 泰宏
- 山本 美和
- 浜中 勝美

新社会党

- 金子 和雄

山中八策の会

- 塩田 尚

筑峰クラブ

- 鈴木 富士雄

創生クラブ

- 高野 文男

※○印は会派代表者

『統一会派 つくば政清会・民進党の会』は、平成30年4月1日から『つくば政清会』へ変更となりました。

会派代表質問

つくば・市民ネットワーク
宇野信子議員



議員 市政への市民参加の大本は、総合計画策定など市の方針検討において、幅広く市民の声を集め、また市民同士が学識経験者や行政職員とともに、みんなでつくば市の課題について話し合い、方向性を見出していくことにあると考えます。市民参加推進の指針の実施が始まるこの時期に、未来構想と戦略プランの見直しを行うという事で、さっそく実践が始まると思いますが、具体的にどのように進めるのか、考えを伺います。

市長 未来構想および戦略プラン見直しにおける市民参加についてですが、現在策定中の市民参加推進に関する指針などに基づき、つくば市未来構想等審議会への市民委員の公募のほか、アンケート調査や地区ごとの懇談会に加え、

地域交流センターの役割は果たせているか？

議員 生涯学習が教育局に移管されるのに伴い、地域交流センターの管理や役割はどうなるのでしょうか。

市長 生涯学習の教育局への移管に伴う地域交流センターの管理や役割については、新年度においても引き続き、地域交流センターなど市民が利用する施設の修繕を行い、利用者の利便性、快適性の向上を図ります。主な事業としては、二の宮交流センターの施設や葺崎交流センターの空調設備の修繕工事を予定しています。新年度以降も引き続き、市民部所管の施設とし

て事業を展開していきます。

議員 地域交流センターは地域交流と生涯学習の二つの目的がありますが、現状では役割を十分に果たせていないと思います。この点については以前も何度か質問したところで、地域交流センターの課題についてどのような改善策について、考えを伺います。

教育長 もともと公民館というのは、戦後、地域づくりの拠点としてスタートしたものが、高度成長期に、時間の余裕のある方々が余暇を楽しむというような趣旨に大きく変わったというよう



未来構想と戦略プラン

ワークショップの開催などを予定しています。より多くの市民の参加が得られるよう、参加手法の工夫や参加しやすい環境づくりを心がけ、積極的に市民参加を推進しながら見直し作業を行っていきます。また、「広報つくば」やホームページなどにより、策定の状況や過程についても積極的に情報提供を行っていきたくと考えています。

な経緯がありますので、それをもとに戻して、地域づくりセンターとか、地域活性化センターというようなネーミングに変えたら、狙いももっと明確になるのではないかと考えております。

市長 地域交流センターですが、やはり貸し館業務が中心となっている中で、本来的な意義を果たし切れていないところが大きいのではないかと考えています。今後は、市民が、今以上に利用しやすい、身近で立ち寄りやすい、そして単に部屋を貸すという話ではなく、地域をつくっていく拠点となる、あるいは社会教育の拠点となるようなものに再度捉え直していく必要があるのではないかと認識を持っております。

未来構想・戦略プラン見直しの市民参加は？

会派代表質問

公明党
小野泰宏議員



議員 私は、まちづくりの重要課題として、まちづくりを進めていく際に、その根底に、どういう事業をどの手順で実施すれば、その目的が達せられるのか、その論理や因果関係を明確にした事業体系・納得できるストーリーがあるのかどうかが大変重要であると考えます。まちづくりには、多くの市民の皆さんの参加が不可欠です。市民に共感していただき、かつ参加していただくためには重要な観点と考えますが、市の考えについて伺います。

市長 つくば市は、現在のところ人口は増加傾向にありますが、将来的には、人口減少や高齢化の進行が予想されるとともに、都市構造の変化や都市インフラの維持コストの増大などの課題に対応していくことが必要です。これらの課

つくば市の教育行政の方向性について

議員 つくば市の教育行政において、現在は社会力を育てる教育への転換、そして、来年度は大きく方針を見直していく1年としましては、現時点で、そうしたことに關しての言及は、これまでのつくば市の教育行政について、どのような見解を持っているからなのか伺います。また、大きく方針を見直していくという内容について、大事な学校現場へのかかわり方や理解の推進、そして保護者に対する説明については、どのように行っていく考えなのか伺います。

教育長 教育のあり方を見直すポイントは、近代公教育制度を

どう変えていくかと考えており、学力偏重の競争教育から脱却して、新しい教育のあり方に方向転換をしていく必要があると考えております。このような考え方は、国内外にもかなりあらわれてきているようで、例えば、ESD（持続可能な開発のための教育）は、ユネスコが提唱を進めている教育で、現在の教育の在り方を根本的に変える必要があると意図していると理解しております。国内でも、全国学力テストのトップを独占してきた福井県の県議会が、教育行政の根本的見直しを求める意見書を

実証に基づいた論理・事業の推進をすべき

題解決のために、中心市街地においては、数多く存在する魅力や資源をこれまで以上に活用するとともに、商業や交流などの多様な機能が集積融合し、人々が集う、にぎわいのある空間づくりを進めていくことが必要と考えています。

また、周辺市街地においては、地域固有の歴史や文化、コミュニティなどの魅力を引き出しながら、地域主体の市街地振興活動を通じて、住みよく活気ある地域づくりを進めていくことが必要であると考えています。

こうしたまちづくりを進めるためには、市民が関心を持ち、積極的に参画できる環境を整えることが重要と考えています。このため市としても、市民の声に丁寧に耳を傾け、目指すべき都市の将来像について共有を図り、民間事業者、大学、研究機関などと連携、協働しながら、持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいく必要があると考えています。

可決しているという事実があり、県議会で採択されるということも、かなり重要な意味を持つていると思います。

つくば市では、世界のあしたの教育のトップランナーになることを目指しています。学力偏重から社会力育てに教育の軸足を移し、能力の多寡にかかわらず、誰もが有意義な生き生涯を実現できるような能力、私は、善き生の実現能力と言っておりますが、誰とでもいい関係をつくることのできる社会力を育てる教育に切りかえていく必要があると考えています。



山中 真弓 議員（日本共産党）

TX沿線開発地域に一刻も早い小学校建設を！

議員 県が確保している研究学園二丁目西側の小学校用地に、一刻も早く小学校建設を行うべきと考えるが市の見解は。

教育局長 今後も児童生徒数の増加による教室数の不足が予想され、早急な対応が必要となることから、茨城県が所有する学校予定地について用地取得に向けた交渉を始め、

校舎の増築や新しい学校の建設に向けた検討を進めていきます。
議員 学童クラブについて、希望者と定員との関係はどうなっているのか。受け入れられない場合の対応は。

こども部長 平成30年度、学校敷地内に開設予定の学園の森児童クラブ希望者数は、現時点で203名です。定員は120名ですが、面積基準から換算すると最大147名までの受け入れが可能です。また、学園の森義務教育学校の児童の受け入れを可能としている民間児童クラブは、4月から11クラブとなります。いずれも、定員は40名としています。ただし、学校敷地内の専用施設

名です。定員は120名ですが、面積基準から換算すると最大147名までの受け入れが可能です。また、学園の森義務教育学校の児童の受け入れを可能としている民間児童クラブは、4月から11クラブとなります。いずれも、定員は40名としています。

同様に開設予定のみどりの学園児童クラブ希望者数は、現時点で176名です。定員は120名ですが、最大147名までの受け入れが可能です。

また、みどりの学園義務教育学校の児童の受け入れを可能としている民間児童クラブは、4月から4クラブとなります。いずれも、定員は40名としています。ただし、学校敷地内の専用施設

の受け入れ人数を超過した児童の対応については、学校施設を利用するなどして、平成30年度の入会申し込み児童全ての受け入れを行いたいと、まずは考えております。
議員 島名小学校でも、新設校開校までに教室不足が懸念される。どう対応するのか。

教育局長 平成29年度に、6教室と特別支援教室1教室を増築いたしましたので、今のところ、34年度までは足りると考えております。
議員 島名小学校に併設された学童も定員を超過しているが、今後どう対応するのか。

こども部長 敷地内にはプレハブを増設する場所もありませんので、別の方法を考えて早急に対応をしていかなければならないと考えております。

このほか、竹園東中学校の教室不足について、住みつけられるまちづくりについて、農業従事者への支援制度について質問しました。

り添う体制づくりをさらに推進していくには、地区相談センターの役割を検証するとともに、市民が主体的に地域の課題解決に参加する機運の醸成に取り組みながら、地域協議会を含め、よりよい仕組みづくりについて検討していききたいと考えています。

議員 全地域一斉に足並みを揃えるのではなく、地域の状況を見ながら進める方法もあると思います。その際、区会などに加え子育てや障がい者に係る団体も含めた広範な市民との協議会を要望します。

このほか、介護保険料の減免障がい者の65歳からの介護保険移行強要、貧困対策、保育所などの施設での事故防止対策、新生児聴覚検査への公費補助について質問しました。

このほか、介護保険料の減免障がい者の65歳からの介護保険移行強要、貧困対策、保育所などの施設での事故防止対策、新生児聴覚検査への公費補助について質問しました。

このほか、介護保険料の減免障がい者の65歳からの介護保険移行強要、貧困対策、保育所などの施設での事故防止対策、新生児聴覚検査への公費補助について質問しました。

このほか、介護保険料の減免障がい者の65歳からの介護保険移行強要、貧困対策、保育所などの施設での事故防止対策、新生児聴覚検査への公費補助について質問しました。



鈴木 富士雄 議員（筑峰クラブ）

旧総合運動公園事業用地（高エネ研南側未利用地）について

議員 平成29年8月8日の全員協議会において、「旧総合運動公園事業用地」について（独）都市再生機構への返還要望が受け入れられなかったことから、「当該土地の利用を早期解決に向けて検討を進める事とする。この土地については、公共施設用地としての利用可能性を継続していく。また、公共施設としない場合を想定してサウンディング調査を実施する。」という説明を受けました。その後経過と今後どのように進めていくか伺います。

と民間利活用の二つの方向性を想定し、並行して検討を進めているところです。

公的利活用については、利用可能性を継続し検討していますが、市内二丁目調査でも利活用案は出ていない状況で、現実的には公的利活用の実現性は低いと感じています。

また、民間利活用については、土地処分策の検討や土地利用方針の策定を進めていきたいと考えています。土地利用方針の策定に当たり、サウンディング型市場調査を実施し、今後、ホームページなどを通し、4月頃に調査結果の公表を予定しています。また、市

民向けの説明会での地域の皆様の御意見や、学識者などで構成される都市計画審議会などからの御意見を伺いながら、方針などの検討を進めていきたいと考えています。
市長 利子だけで相当な税金が無駄に使われている状況は一刻も早く改善をしなければいけないと、財政への影響を考えるのは当然なことです。一方、これだけの本当に広大な土地を公的利活用は、現実的ではなかなかないだろうと思いますので、今、調査の状況を踏まえ、可能なことを判断していく段階にあると思っております。

このほか、教育行政、廃校になる筑波地区の小中学校の跡地利用、ファーマーズヴィレッジの設立、廃校跡地を利用した地域の郷土史・公文書館の設置について質問しました。

このほか、再犯防止計画、保育士等処遇改善助成について質問しました。

このほか、再犯防止計画、保育士等処遇改善助成について質問しました。

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を

また、国の地方創生の交付金を



皆川 幸枝 議員（つくば・市民ネットワーク）

地域の課題解決力を高めるための取り組みは？

議員 これからの高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムの構築として、生活支援体制整備事業が始まります。この事業の概要、現時点で想定されているサービスの内容について伺います。

保健福祉部長 この事業は単身や夫婦のみの高齢者世帯がふえ、支援を必要とする高齢者が増加する中、互助を基本とした地域の支え合いの体制づくりを目的とした事業です。

ケアマネジャーへのアンケートでは、話し相手、ごみ出し、通院、院内介助、要支援者では外出支援、庭木等の管理、通院、院内介助のニーズが高い結果となりました。このようなニーズに対応できる地

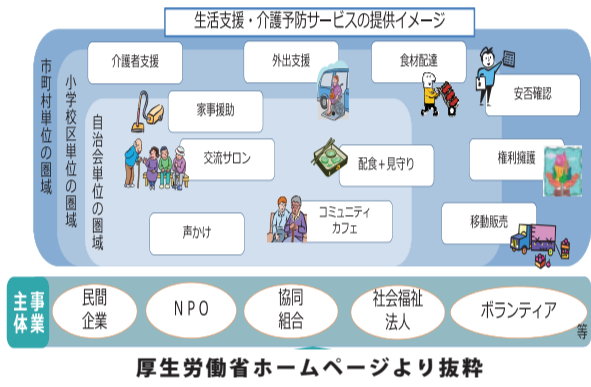
域づくりを行うため、現在、荖崎地区に協議体の設置を進めております。

議員 市内には多くのボランティアや市民団体、NPOが地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいる一方、メンバーの高齢化、活動拠点の問題などで、活動が縮小している団体があります。これらの団体などへ市として、どのような支援を想定していますか。

保健福祉部長 市としては、ボランティア団体などが地域高齢者のために支援活動などを行うに当たって、資金や拠点の課題などが必ず出てくると思います。この課題などに必要な支援策というものを見出しながら、その必要性や有

効性などを考慮して、支援の方法などを検討していきたいと考えております。

このほか、学校の多忙化への対応について、中学校への学校図書館司書の配置について、跡地活用について質問しました。



有書図書



小森谷 佐弥香 議員（つくば・市民ネットワーク）

せめて条例に沿った対応を！

議員 茨城県では「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」に基づき有書図書等の指定をして、陳列する際の留意点を示しています。しかし、市内の書店・コンビニでは条例が浸透しているとは言いがたく、一般の書籍コーナーに有書図書が紛れていたり、仕切り板や表示が不十分な状況があります。現状と対策について伺います。

市民部長 平成22年4月施行の茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づいた県から委譲された調査権限により、市と連絡協議会が連携し、計画的に実態調査と啓発活動などを行っています。市内

では、これらの図書の販売を行う店舗が書店などで143店舗あることを青少年相談員による実態調査で確認しております。これらの店舗に対しては、青少年健全育成全体に関する説明をすることも理解いただいた店舗には青少年健全育成の協力店として登録いただき、青少年の健全育成と非行防止に協力いただいております。

今後は、青少年相談員の研修や情報の共有化などにより、複雑化している有書図書への理解深化を図り、店舗への説明、啓発を強化し、引き続き青少年にとってよりよい社会環境づくりを推進してい

きます。

議員 20力所以上見て回りましたが、一般誌と区別する区分陳列をしていない店舗が少なくありません。市民が有害図書について何とかして欲しい、と思った時はどこに相談したらよいですか。

市民部長 このような有害図書の陳列方法などに疑義とか疑問が生じた場合は、各地区の青少年相談員や市の担当までご連絡いただきたいと思います。

平成30年4月からは、教育局の生涯学習推進課が担当となりますので、青少年相談員と連携いたしました。店舗訪問や必要に応じた指導などを行ってまいります。

このほか、学区（特に学園の森義務教育学校）について質問しました。



北口 ひとみ 議員（つくば・市民ネットワーク）

ソーラーシェアリング、つくば市独自のガイドラインを！

議員 12月議会では、良好なソーラーシェアリングの実施を目指し、独自ルールを検討しているとの答弁でした。その後どのような進捗状況か伺います。

農業委員会事務局長 荒廃農地に営農型発電施設を設置する場合などで営農を行う場合は、1作以上の耕作を行うこと。また、土壌診断の結果など耕作できる確実性が担保された場合に申請できるものとするガイドラインを施行に向けて進めています。

継続の指導責任は、農林水産省通知に基づき、農業委員会が行います。また、申請作物が営農可能かの判断については、農業委員会が行い、提出される状況報告や現地調査などにより判断します。

収穫農作物については、収量品質などにより判断を行い、収穫が見込まれない場合には、栽培管理に関する書類の提出を求め、また、生育状況などについて知見を有する専門機関に確認を依頼し、判断したいと考えています。

議員 農水省のソーラーシェアリングの取り扱いでは「転用期間は3年以内」となっています。1年の更新も可能ということでしょうか。水守のケースについては、営農を確実に推進するためにも、厳しいようですが、明確な条件をつけ1年毎の更新も視野に入れていただきたいと思います。見解を伺います。

農業委員会事務局長 1年の更新については、翌年の農作物の



水守地区のソーラーシェアリング

このほか、遺伝子組換えミラクリントマトと情報提供の在り方について、吾妻2丁目公務員宿舎跡地内の歩行者通路の確保について質問しました

生育、収穫量などを考慮して、1年での更新も可能であると茨城県に確認をとっておりますので、条件をつけて1年の更新は可能と考えています。今後、ガイドラインの作成を行い、農業委員会が総合的に勘案して、その都度判断すべきと考えております。

公共交通について



塚本 洋二 議員（統一会派 つくば政清会・民進党の会）

議員 平成30年度の市内の公共交通であるつくばバス・つくばタクの交通体系について改編を行う予定であると聞いておりますが、新規路線やルートの組み替え、増車について市の考えている改編内容をお聞きいたします。

都市計画部長 今回の公共交通の改編は、つくば市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通ネットワークを支える幹線プラス支線システムの構築を図ることを基本的な考え方とし、幹線・支線の重要な役割を担うコミュニティバスのつくばバスとデマンド型交通

のつくばタクを中心に改編していく予定です。つくバスではシャトル型の運行を基本とし、新規路線の設定や一部路線のルート見直し、折り返しの導入、ライダー路線の導入、バス停の増設等をおこなってまいります。現在、7路線を22台で運行していますが、バス路線がない地域の新規路線の設定を検討しているところ。新たに車両が必要になることも考えられますので、今後、検討していきたいと思

います。つくばタクについては、予約方法

このほか、入札制度について入札制度方針の見直しと、最低制限価格へのランダム係数導入の検討に関する市の現在の考えについて質問しました。

※幹線路線から一定の需要が見込める地域を結ぶような枝線の比較的短い距離の路線

◆平成30年度つくば市国民健康保険特別会計予算 原案可決

賛成討論

国民健康保険は、平成30年度から県の管轄になり、つくば市は、高額な負担金を支払うことになりました。これには、市長、議長、市選出の県議会議員などが県に申し入れ、約3億円減らすことができました。残りについては、一般会計からの繰り出しをする予定です。さらに、このような状況の中、約6割の加入者が減税になります。これは評価されるべきです。市議会決議にあるように、国の負担をさらに増やす事やさまざまな改善が必要です。

最後に、豊かな子育てをするために、第3子の均等割りをなくすことを検討すべきです。以上、改善の進展を求めながら賛成とします。

◆平成30年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算 原案可決

原案可決

反対討論

75歳以上の高齢者を別立てにした後期高齢者医療制度には、当初から、差別医療だと撤回を求められる中、見切り発車をしたものです。安心して老後を迎えるためには、かつて医療費の無料化を行っていた老人保健制度のような新たな保険制度を確立するよう国に求め、反対をしてみました。よって、この立場で反対とします。

賛成討論

後期高齢者医療制度は、安心して生活と適切な医療を確保するために必要な制度です。本予算には、高齢者が健康に過ごすために必要な健診や負担金などの予算も適正に組まれていきます。このようことから、円滑かつ安定的に運営されることを希望し、賛成とします。

◆平成30年度つくば市介護保険事業特別会計予算 原案可決

賛成討論

高齢者世帯などが増加し、介護保険の認定者数やサービスの利用者数も増加しています。高齢者が介護を必要とする状態になって安心して生活できるように、介護保険事業の予算は必要です。この平成30年度予算は、介護予防事業の充実によって、高齢者の生きがいづくりなどを支援するとともに、介護を必要とする方および家族が安心して生活するため、必要なものと判断し、賛成とします。

反対討論

つくば市は、第6期計画の際に値上げを行い、県下3番目の保険料となりました。収納率は落ちました。政権推し進める税と社会保障の一体改革により、負担増のサービス取り上げの制度改善が繰り返されています。取り立ての強化ではなく、低所得者に寄り添う保険料、利用料の軽減措置を求め、反対とします。

その他の議案等

◆つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について 原案可決

原案可決

賛成討論

今回の改正は、介護保険給付の円滑な実施を目指すものです。保険料については、累進性を高めた所得段階区分とすることで低所得者の方に配慮し、延滞金に関する規定を設けることで、その減免を可能にした点も評価できます。高齢者世帯などが増え、サービスの必要性がますます高まっており、制度を安定的に運営するために不可欠なものと判断し、賛成とします。

平成30年3月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

Table with columns for council members and bills (議案第11号, 14号, 23号, 43号). Members include 鈴木富士雄, 高野文男, 金子和雄, etc.

※「○」は賛成、「×」は反対、議長は、可否同数の場合又は特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。
※『統一会派 つくば政清会・民進党の会』は、平成30年4月1日から『つくば政清会』へ変更となりました。
※会派名(五十音順) 山=山中八策の会 新=新社会党 創=創生クラブはがくれ 筑=筑峰クラブ

平成30年3月定例会議案等議決結果一覧

Table with columns: 報告案件, 内容, 案件名, 内容, 議決結果. Lists various budget and policy proposals and their outcomes.

総務

◆平成29年度つくば市一般会計補正予算(第7号)

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 アイラブつくばまちづくり寄付推進業務委託料に要する経費の減額について
答弁 寄付額を1億8270万円と見込んでいたが、実際は約4900万円になったため。

◆平成30年度つくば市一般会計予算

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 職員研修に要する経費について
答弁 職員の海外研修を行うため、平成29年度より約900万円増額した。
質疑 学生協同プロジェクト業務委託料について
答弁 若者の視点で市の新たな魅力を発見し、情報発信を行うことで、学生の定

着化、つくばへの愛着心の醸成などを目的として冊子等を制作するため。
質疑 まちづくりアドバイザーについて
答弁 これまで、3回来日しているほか、毎週1時間程度ウェブ会議を行っており、来年度は、中心市街地のまちづくり業務を中心に行う。

◆平成30年度つくば市一般会計予算

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 ICT教育について、タブレットや電子黒板など、整備環境の地域格差はあってはならないため、できるだけ早く電子黒板やタブレットの整備を進めていってほしい。また全学校で同じ環境ではなく、各学校で工夫することもよいのではないか。
意見 放課後の児童対策について、児童館の一般来館を含めた児童館構想の今後の方向性や放課後子ども教室の推進、児童クラブ室については、学校施設の有効活用など、児童クラブ員だけでなく全ての子どもたちの居場所づくりという課題をこども部から発信していただきたい。
意見 高齢者用福祉タクシーについては、現在の助成対象者の要件を緩和することや高齢者の足の確保から、今後の公共交通全般のあり方について検討してほしい。

文教福祉

市民経済

◆平成29年度つくば市一般会計補正予算(第7号)

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 自治宝くじコミュニケーション助成補助金の内容と減額理由について
答弁 一般財団法人自治総合センターが宝くじ普及拡大の広報事業として、コミュニケーション活動を行っている団体に助成を行うもので、今年度は2件の申請があったが、1件不採択になり事業実施ができなかったため。

◆平成30年度つくば市一般会計予算

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 筑波山地域ジオパーク推進に要する経費の印刷製本費について
答弁 「旅と地球」という冊子1万部

と地図のパンフレット2万部を印刷予定である。
質疑 農業次世代人材投資資金の概要について
答弁 青年就農給付金から名称が変わったものであり、新規就農希望者に対して、年150万円給付するものである。新規では34名を見込んでいます。
質疑 商工業振興費が平成30年度は増額している理由とつくば産業コーデイナー報酬・まちづくりアドバイザー報酬の概要について
答弁 産業振興センターの再整備費が計上されており、増額になっている。また、つくば産業コーデイナーについては、平成30年度設置されるスタートアップ推進室に配属され、スタートアップ企業へのマッチングや経営計画の指導をする。まちづくりアドバイザーについては、現在スタートアップ戦略を策定しており、そのアドバイスをもたらしている。

常任委員会 審査

委員会を開催し、付託された議案等の審査を行いました。各委員会から報告された審査内容の一部をお知らせします。

◆平成29年度つくば市一般会計補正予算(第7号)

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 上郷高校跡地利活用事業者選定委員会委員謝礼

の減額理由について
答弁 追加のサウンドディングなどに時間を要して選定委員会を実施しなかった。平成30年度に実施する。
質疑 橋梁耐震補強設計委託料と土木工事の減額理由について
答弁 手代木橋の耐震補強工事において、国庫補助事業として予定していたが、補助が該当にならず、事業を実施できなかった。平成30年度に引き続き、国庫補助事業として進めていく。

◆平成29年度つくば市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 下水道事業基金積立金の増額理由と残額について
答弁 維持管理の修繕工事および霞ヶ浦常南流域下水道維持管理負担金が執行見込額を下回り、それを基金に積立てるためのもので、平成29年度末の残額は約5億円である。

◆平成30年度つくば市一般会計予算

▼審査結果Ⅱ可決すべき
質疑 防犯カメラ設置工事の内容について
答弁 犯罪防止を目的に、平成25年度からつくばエクスプレス駅周辺やペDESTリアンデッキなど不特定多数の者が利用する場所に計113基設置してある。
質疑 不動産鑑定手数料について
答弁 谷田部庁舎跡地および荃崎庁舎跡地の事業定期借地などの賃借を想定した場合に賃借料を算定する際の市場価格などを把握するために、不動産鑑定を行う。

都市建設

議会報編集委員

委員長	黒田健祐
副委員長	高野文男
委員	山中真弓
委員	小森谷弥香
委員	長塚俊宏
委員	神谷大蔵
委員	皆川幸枝
委員	山本美和

傍聴をお待ちしています!

6月12日(火)	開会・議案上程
19日(火)	一般質問
20日(水)	一般質問
21日(木)	一般質問・議案等総括質疑
25日(月)	委員会(総務・文教福祉)
26日(火)	委員会(市民経済・都市建設)
29日(金)	討論・採決・閉会

6月定例会開催予定

6月定例会は、つくば市議会議場(市役所6階)で6月12日から開催の予定です。市議会(本会議・委員会)は簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお越しください。

なお、日程は変更になることもありますので、電話またはホームページでご確認ください。

【問い合わせ】

議会事務局議会総務課 (Tel 029-883-1111 内線 6110・6120・6130)

【つくば市議会ホームページ】

<http://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>



本会議の様子をインターネットで配信しています!

上記ホームページから「議会議中継」をクリックしてアクセスし、視聴してください。本会議(定例会・臨時会)の開催時間であれば生中継をご覧いただけます。生中継を見逃した方は、本会議開催日ごとに3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。※委員会は配信していません。